



三種町

議会だより

平成27年
10月15日 発行

第39号

「～無事故を願って～」

下岩川小学校交通安全鼓笛パレード」



も く じ

一般会計・各特別会計決算 監査委員の意見	2～3
決算の審議	4～6
補正予算の内容、議案一覧 議案審議、議案採決結果 …	7～9
一般質問（4人が登壇）	10～13
町民と議会との懇談会 子ども議会、請願・陳情…	14～15
三種の星、編集後記	16

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

平成26年度決算を認定

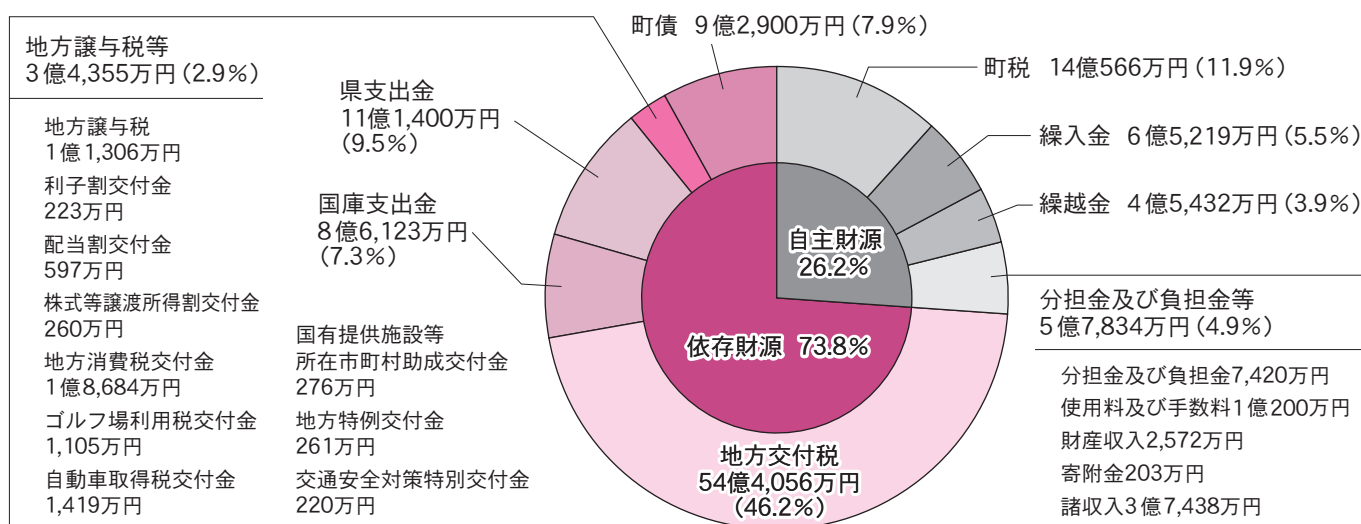
全会計合計で

4億3,900万円の黒字

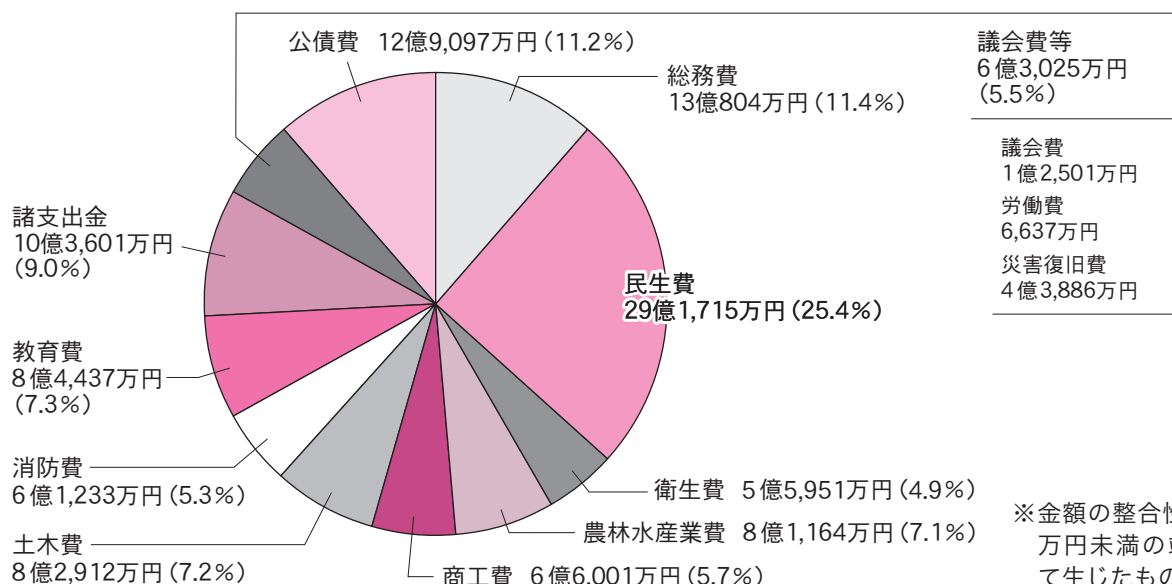
～一般会計の自主財源は26.2%（前年度は23.9%）～

◆ 一般会計決算 ◆

歳入合計 117億7,888万円



歳出合計 114億9,943万円



※金額の整合性に欠けるのは、万円未満の端数処理によって生じたものである。

● 平成26年度 各会計決算総括表 ●

(単位：千円)

会 計 名		調 定 額 ①	歳入決算額 ②	歳出決算額 ③	差 引 額 ②－③	不納欠損額 ④	収入未済額 ①－②－④
一 般 会 計		11,993,690	11,778,887	11,499,431	279,455	32,927	181,875
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	2,661,013	2,569,643	2,490,138	79,504	10,591	80,777
	後 期 高 齢 者 医 療	172,405	171,108	170,985	123	149	1,147
	簡 易 水 道 事 業	221,951	217,899	207,224	10,675	87	3,964
	公 共 下 水 道 事 業	659,016	606,403	599,558	6,844	380	52,232
	農 業 集 落 排 水 事 業	156,745	153,467	148,799	4,667	5	3,272
	介護保険事業勘定	2,847,740	2,840,319	2,789,405	50,913	2,519	4,901
	介護サービス事業勘定	26,498	26,498	23,570	2,928	0	0
	衛 生 処 理 事 業	24,618	24,618	20,874	3,743	0	0
	温 泉 事 業	42,469	22,840	22,082	758	0	19,628
	国民健康保険診療施設勘定	0	0	0	0	0	0
	特 別 会 計 計	6,812,459	6,632,799	6,472,640	160,159	13,734	165,925
合 計		18,806,150	18,411,687	17,972,071	439,615	46,662	347,800
水 道 事 業	収益的収支	－	163,010	166,335	△ 3,325	－	－
	資本的収支	－	33,024	78,258	△ 45,234	－	－

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

監査委員の意見

代表監査委員 門 間 芳 継

収入未済額は、一般会計・運用基金・水道事業会計を含めると385,947,519円で、昨年度より12,097,740円減少している。また、不納欠損額は46,665,505円となっており、前年度より19,590,148円減少した。納税環境は年々厳しさが増してきており、町税の現年度分収入率は97.2％と昨年度を上回っているが、保育料や住宅使用料、給食費の現年度分収入率は98.8％で、保育料の収入率は前年度を下回った。

これら税等は、貴重な自主財源であると同時に公平な利用者負担が大原則であることから、収入率の向上による収入未済額や不納欠損額の減少に鋭意努力されるよう要望する。

歳入に占める自主財源の割合は前年度より増加し26.2％となったが、依然として地方交付税等の依存財源は70％を超えている現状である。今後の地方交付税の算定替えによる減少が見込まれることから、従前にも増して自主財源の確保を図るため、事務事業全般の見直しを進め、コストの削減を図るなど、全庁一丸となった合併効果の見える行財政運営の取組みを強化する必要がある。

決算の審議

平成26年度各会計歳入歳出決算の12議案は、各常任委員会に付託され、委員会が所管する決算内容について審議が行われました。その結果、教育民生常任委員会は「原案のとおり認定すべき」、総務常任委員会と産業建設常任委員会は「意見を付して原案の通り認定すべき」とし、本会議に報告しました。

総務 常任委員会

問 物品売払収入はどのようなもの
を売った収入か？

答 物品については、建設関係の重
機6台、マイクロバス1台、公
用車等を売った収入である。

また立木については、東北電力の
送電線の設置や、風車建設のために
伐採した立木の売却代金である。

問 普通交付税の今後の動向は。

答 平成33年度から、現在より8億
円から9億円の減が見込まれる。

問 特別地方交付税の具体的な使わ
れ方は。

答 特別交付税は豪雪や災害など特
殊な事情をカバーするためのもの
である。

問 ふるさと元気づくり寄付金のう
ち大口寄付(100万円)の使途に

ついて寄付者の要望はあったか。ま
た、今年度は納税者が増えていると
聞くが、その理由は。

答 使途については「自由に」とい
うことであった。納税者が増え
た理由は、インターネットの「ふる
さとチョイス」というサイトに登録
したことが大きな要因である。また、
登録業者数も増やし、返礼品を55品
目から選択できるようにしたことも
要因と考えている。

問 マイナンバー制に関して、情報
の漏えいなどに対する対策は万
全か。また、役場の仕事全てに適用
するのか？

答 それぞれの情報が中間サーパー
を通して管理されるので、情報
が即座に漏れることはないという説
明がされている。町としても万全を
期して取組んでいきたい。

また、税、社会保障、災害関係な
どに適用させていく予定である。

問 防災行政無線保守点検は毎年必
要か。義務づけられているのか。
答 非常用なので点検は必要である。

問 町税等のコンビニ収納の現況は。
また、手数料はいくらか。

答 昨年9月よりスタートしたが、
平成26年度実績は112件で24万8
千500円、平成27年7月末実績は4千
386件で4千379万7千400円である。
手数料は1件57円である。

問 たばこ販売組合にはコンビニも
入っているか。
答 組合数は40人だが、コンビニは
入っていない。

問 交通安全対策特別交付金とは。
答 道路交通法違反の反則金を原資
とし、区画線(白線)やカーブ
ミラーなどの修復に使われる。なお、
事故件数が多い場合に交付金が増額
される。

問 宝くじ市町村交付金の内訳は。
答 サマージャンボ宝くじは県ごと
に3カ年固定の枠があり、秋田
県は5億円枠で、当町は約1千300万
円である。オータムジャンボ宝くじ
は、全国の売り上げ額に応じて配分
され、当町は約500万円である。



総務常任委員会審議

意見

納税の公平化のため引き続
き収納に努力していただくこ
と、及び、税務事務運営方針
を遵守しトラブルやミスがな
いように細心の注意を払って
いただきたい。

教育 民生 常任委員会

問 LED街路灯E.S.C.O事業は、当初の見込みどおり、電気料などは減少しているのか。

答 平成26年10月から10年間の長期契約をしており、まだ1年も経っていないので正式な比較はできていないが、電気料は3割から4割程度に減っており、毎年数百万円あった修繕料も大幅に減っている。

問 秋田県総合防災情報システムの内容は。

答 各町村と県庁を結ぶシステムであり、FAX・電話・衛星電話・インターネット通信を使って、どのような状況でも県との通信ができるようになっている。

問 臨時福祉給付金の1万円と1万5千円の違いは。また、平成27年度の給付金の支給内容は、どのように変わったのか。

答 年金を受給している人には5千円の加算があるので1万5千円となる。受給者数は3千26人である。1万円の対象はそれ以外の方で、受給者数は1千430人である。また、平成27年度の給付金は一律

6千円である。なお、子育て世帯は臨時給付金3千円を受給できる。昨年度は児童手当の支給を受けている人は重複して受給できなかったが、今年度からは両方受給できるようになった。

問 介護保険料の納入は、一般納付と年金からの天引きを選択できるのか。

答 年金収入が年額18万円以上の方は年金天引きとなり、それ以下の方は普通徴収となり納付書で納付してもらう。年度中に65歳になられた方は、1年目だけは普通徴収となる。



教育民生常任委員会審議

問 平成27年8月から介護保険の自己負担額が2割に引き上げられたが、三種町でその対象者は何人か。

答 18人である。

問 脳ドック検診の状況は。また、この検診を受けられる病院は。

答 平成26年度は171人、平成27年度の今の時点で103人である。検診を受けられる病院は、脳血管研究センター、秋田赤十字病院、中通総合病院、秋田厚生医療センター、能代厚生医療センターの5病院である。

問 精密検査費の一部助成金は、再検査費の助成ということで大変良い補助金である。金額はいくらか。

答 集団健診による胃がん、大腸がん検診の結果、精密検査が必要と診断され精密検査を受けた人に対し3千円を上限に自己負担分を補助している。

問 学校生活支援員は、年間何日勤務しているのか。

答 特別な支援が必要な生徒児童も通常の学級で勉強しているのので、支援員はそのため配置されている。勤務日数は200日である。

問 衛生処理事業の繰入金について、平成25年度は2千万円で、平成26年度は1千800万円と約200万円減少している。要因は何か。

問 ひまわりセンター入浴料164万6千100円収入されているが、何人利用しているのか。

答 年間1万1千237人である。内訳は大人1万448人、小人789人である。

問 給食センター厨房作業機器保守点検業務の詳細は。

答 すべて全自動の機械で、毎日1千200人分の給食を作っているが、機械の故障で業務が停止しないように念入りに点検している。また、故障により機器の部品や破片が給食に混入することがないよう徹底的に点検している。夏休みと冬休み期間中に実施している。

問 高齢者除排雪支援事業についてはできないか。

答 地域により降雪量の差があることは把握しており、今後の検討課題としていく。

産業建設 常任委員会



産業建設常任委員会審議

問 釜谷地区の農業集落排水を流域下水道に接続する費用はいくらになるのか。

答 現在、県に認可変更の手続き中である。釜谷地区を中心として、三種町全体の見直し計画、基本設計を発注している。平成28年度には流域下水道につなぐための実施設計、平成29年度には本工事を行い、平成30年度に供用開始の予定である。概

算の事業費は、平成24年度に算出した金額は約1億5千万円である。

問 三種町議会では、米価下落対策についての陳情を採択した。その趣旨を受けて中小規模農家への配慮を来年度の予算に反映すべく努力をしていただきたい。

答 新規に予算化するの是非常に難しい。産業建設常任委員会から意見があつたことを伝える。

問 降雪前に各業者と一緒にどのような除雪の仕方をやるかなどの現場立ち合いは、やっているのか。

答 シーズン前に除雪会議を開き、除雪に携わる関係者が集まり、その年の注意しなければならぬことなど、打ち合わせを行っている。路線一つひとつの除雪の仕方については、会議の中で指導している。排雪場所や地元の方の要望箇所についても、業者に指示している。また、業者も自主的に現場確認している。

問 ゆうぱる宿泊棟外構工事205万2千円とあるが、これは2月17日と2月27日の臨時議会でゆうぱる宿泊棟改修工事費で減額した分なのか。

答 そうである。

問 元々本体の工事に組み込まれていたものを、現場精査すること

によって、今回それはいらなくなつたという説明であつた。それをなぜ復活させて工事しているのか。

答 2月17日の臨時議会で本体工事に組み入れた時に事前着工だと指摘されたので、既存契約に組み入れ、はずした外構工事は別で発注したということである。

問 ゆうぱる宿泊棟外構工事は、事前執行だということを認めるのか。

答 事前執行であり、原則として議決を求める工事であつたと認める。

問 町道補修について、どのような手順で取組むのか。

答 地域住民からの通報やパトロールで発見したものを補修している。

パトロールは、交通量の多いところを重視し、また各地域均等に補修するようにしている。

問 金仏梅公園管理業務について、収穫量と売上額はどれくらいか。

答 JA出荷分としては、1万747キロ。一般販売分として646キロ。ジュース加工分として2千キロである。

売り上げは約220万円である。

意見

○ゆうぱる宿泊棟改修工事が、一部不適切な予算執行のもとに行われており、今後町の工事の実施に当たっては執行管理に十分留意すること。

○米価下落緊急対策小作料補助金は、担い手農家など大規模農家を支給対象にしたものであるが、補助のねらいとしている農地の集積促進を図るためには、貸し手等農地の提供側の協力や認識が不可欠であることから、その視点が欠落している当補助金は、補助効果の観点で見れば十分な対策とは言えない。こうしたことから、関係する請願が採択されていることもあり、関連意見として今後、自作農家等中小規模農家に配慮した対策を実施するよう望むものである。

住宅リフォーム補助金1,600万円を追加！

平成27年9月定例会
補正予算の内容

会 計 名	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額		
●一般会計	111億8,270万9千円	8,103万 円	112億6,373万9千円		
【主な歳出】					
事 業 内 容	事 業 費	財 源			
		国	県	町	
マイナンバー法対応ネットワーク変更業務	407万6千円			407万6千円	
ふるさと納税謝礼・発注管理システム利用料	2,793万6千円			2,793万6千円	
水道未普及地域水道施設整備費補助金（羽立地区）	224万5千円			224万5千円	
住宅リフォーム助成事業補助金	1,600万 円			1,600万 円	
釜谷地区避難所さく井工事費	163万1千円			163万1千円	
下岩川・金岡・森岳小学校ブランコ設置等工事費	217万1千円			217万1千円	
スカルパ野球場改修調査基本設計費	231万2千円			231万2千円	

●特別会計

会 計 名	補正前の予算総額	補 正 額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	28億3,584万9千円	△146万7千円	28億3,438万2千円
後期高齢者医療特別会計	1億6,961万8千円	12万2千円	1億6,974万 円
簡易水道事業特別会計	2億4,537万7千円	1,067万4千円	2億5,605万1千円
公共下水道事業特別会計	6億2,203万3千円	760万3千円	6億2,963万6千円
農業集落排水事業特別会計	1億6,301万9千円	63万8千円	1億6,365万7千円
介護保険事業勘定特別会計	27億5,404万 円	5,285万9千円	28億 689万9千円
介護サービス事業勘定特別会計	2,747万8千円	292万7千円	3,040万5千円
衛生処理事業特別会計	2,596万6千円	374万2千円	2,970万8千円

●水道事業会計

区 分	補正前の予算総額	補 正 額	補正後の予算総額
収益的収入	1億5,479万1千円	9万9千円	1億5,489万 円
収益的支出	1億5,768万2千円	△546万7千円	1億5,221万5千円
資本的支出	7,456万2千円	389万2千円	7,845万4千円

平成27年度予算			条 例		平成26年度決算												区分	審議された議案一覧	
国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正	一般会計予算の補正	公共下水道事業特別会計への繰入	手数料徴収条例の一部改正	議会の議決に付すべき事件に関する条例の制定	水道事業会計決算の認定	国民健康保険診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定	温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定	衛生処理事業特別会計歳入歳出決算の認定	介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定	介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定	一般会計歳入歳出決算の認定	議 案 名		
																	賛成		採決
																	反対	状況	
17	15	17	15	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	15	14	結果		
0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3			
可決	可決	可決	可決	可決	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定			

ゆめろん改修工事費追加予算案を否決

議案審議

この議案は、ゆめろん改修工事費を増額する予算案である。

9月定例議会最終日の9月18日、工事費2千500万円を増額した一般会計補正予算が追加提案され、質疑はなく、反対・賛成討論が交わされ、起立採決が行われた。結果は、賛成2、反対15（定数18人、議長を除く）となり否決された。

◆反対討論

清水欣也議員 今回の補正予算は、要求すること自体がおかしい。

ゆめろんの改修工事費の増額が必要か、設計変更が必要かは、一度入札を執行し契約をした後に出てくる問題であって、入札と契約を経ているのに一度決まった予定価格をさらに上げるために予算を増額するというのは極めて勝手で、業者の言いなりと言わざるを得ない。

そもそも、なぜ全社指名替えによ

る入札をしないで、1回目で入札を中止したのか。

全指名業者が入札を辞退するということは、自分達はこの入札には参加しないという意思表示であり、その業者の都合によって町の入札のやり方が左右される筋合いはない。そのため、全指名業者が辞退した場合、直ちに指名替えをして入札をし直すのが公共工事の常識である。

国でもそうしているし、県でもそうしている。県内の市町村も県のルールに準じている。なぜ、私達の町だけがルールを無視するのか。町民の非難の声が聞こえないのか。

また、一度電気設備工事と機械設備工事を建築工事から分離発注しておきながら、なぜ今度は建築工事への一括発注に変更するのか。

なぜ、当初の分割発注の目的を捨てるのか。これでは、指名が取り消される業者にとっては、町は信義にまともと言わなければならない。

結論として、指名替えによる入札と契約を経ない補正予算案には反対である。

◆賛成討論

後藤栄美子議員 産業建設常任委員会での指摘や要望を取り入れ、実施設計をした結果、基本設計よりかなり増しになったと全員協議会で説明があった。予算不足では、せっかくの改修が中途半端で町民も納得しないと思う。

4億6千万円をかけて行われる工事を町外の業者にやらせても良いのだろうか。できることなら指名業者すべて町内業者で入札してほしいが、そうもいかないもので、当局はその辺を十分考慮して、業者選定していただきたい。町内業者が請け負った場合、町にもたらす投資効果は大きいものと期待している。業者の従業員はもちろん、その家族、大工、左官屋、給油所など、さまざまな業種にお金が回るものと期待している。

町内の建設業者は大型機械を自前で保有し、災害時には早期復旧に重要な戦力となる。いわば町の財産を民間業者が保有しているのと同じだ。その町内業者を育てるのも、町の役割と私は思っている。

よって、この補正予算案には賛成である。

報告	議 案			その他	推薦	平成27年度予算											区分	審議された議案一覧
	議員派遣（町民と議会との懇談会）	議会傍聴規則の一部改正	議会議規則の一部改正			後期高齢者医療特別会計予算の補正	簡易水道事業特別会計予算の補正	公共下水道事業特別会計予算の補正	農業集落排水事業特別会計予算の補正	介護保険事業勘定特別会計予算の補正	介護サービス事業勘定特別会計予算の補正	衛生処理事業特別会計予算の補正	温泉事業特別会計予算の補正	水道事業会計予算の補正	一般会計予算の補正（追加）	人権擁護委員候補者の推薦	行政不服審査会の事務の委託	
財政の健全化判断比率及び資金不足比率の報告	17	17	17	17	17	2	17	17	17	17	17	17	17	17	17	賛成	採決	
－	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対	状況	
報告	可決	可決	可決	可決	可決	否決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果		

※議長は採決に加わりません。

※議長は採決に加わりません。



解体工事が進められた空き家

その他の
一般会計予算の補正

問 今回の補正予算は、解体予定の空き家が計画件数以上に増えたためなのか。また、全体の件数は。

答 解体費の助成金は当初予算が110万円、6月補正で220万円が計上されている。これに対して実績が約203万円、今後支出見込額が132万円あり、さらに解体2件分を支出する予定である。なお補助件数は決定しているものが7件、補助見込みが4件、計11件である。

問 6月定例会で定住対策費400万円計上されていたが、その後の進捗状況は。

答 現在3件・移住者5名について、エアコンの設置、水回り関係の修繕を実施中である。

問 スカルパ野球場大規模改修調査基本設計業務の詳細は。

答 建設から20年が経過しており、建屋部分の老朽化、ダグアウトの雨漏り、グラウンドの芝部分の排水の悪化などがみられる。特にスコアボードについてはストライク、ボール、アウトの表示が変わってしまった。全体的に改修するための基本設計の調査費用である。

問 小学校施設改修工事の詳細は。

答 下岩川、森岳、金岡の各小学校にブランコを設置する工事である。一基あたり70万円ほどである。

問 琴丘小学校の体育館改修工事については、夏休み中の工事と聞いていたが、工事が遅れた理由は何か。

答 夏休み期間中にと進めていたが、設計業務関係が施設の部分



改修工事が進められている琴丘小学校体育館

的な改修であることから、学校側との協議などに時間がかかってしまった。授業などに支障のないように工事を進めている。

問 ふるさと納税に係るシステム利用料の詳細は。

答 これまでは町に連絡をいただき、こちらから本人に申込書を送付し、お金を振り込んでいただいて、それを確認し、返礼品を送付するという流れであった。このイーネットシステムを使うことで事務の簡略化、納税者の利便性をはかることにつながる。その委託料は、寄付額の13パーセントである。

議案採決結果

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議案名	議員名																	結果
	1 大澤和雄	2 宮田幹保	3 安藤賢藏	4 三浦敦	5 清水欣也	6 工藤秀明	7 高橋満	8 石井秀基	9 鈴木一幸	10 小澤高道	11 成田光一	12 加藤彦次郎	13 後藤栄美子	14 堺谷直樹	15 伊藤千作	16 平賀真	17 児玉信長	
手数料徴収条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度一般会計予算の補正	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度一般会計予算の補正（追加）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	否決

※採決の際に賛否が分かれた議案を掲載しています。

※議長は採決に加わりません。

子供のSOSへの対応は万全か

教育長 各学校に対し、児童生徒の安全、生命の確保に万全を期するように指導助言している



平賀 真 議員

平賀 子供が関係する事件が多発している。い

じめが一因と考えられる自殺、トラブルによる殺傷事件、育児放棄、虐待等、連日マスメディアに取り上げられているが、当町の実態はどのようなになっているのか。

教育長

本町の小中学校では児童生徒の安全や生命を脅かす事案は現在のところ発生していない。

児童虐待については、児童相談所が受理しているものが1件あるが、福祉課と民生児童委員をはじめ関係機関と連携を取りながら見守り活動を行っていく。

平賀

小中学校における問題行動や児童生徒が加害者、被害者となる事例があるのか。その具体的な対応は。

教育長

各小中学校における問題行動を学校現場で把握した場合、ただちに対応策を講じている。問題が他校の児童生徒と関係がある場合は、学校間で情報交換しているほか、近隣の学校とも情報を共有しながら対応している。

また、家庭とも連絡を密にしながら家庭状況の把握を十分に行い、必要があれば民生児童委員や児童相談所、警察等の関係機関との連携も行っている。

平賀

不登校の児童生徒の受け皿はどうなっているのか。さまざまな形で発信されるSOSに対し、教育現場ではどのように対応しているのか。また、情報の共有化は進んでいるのか。

教育長

不登校児童生徒については、山本公民館に開設している「あすなろ教室」で特別教育相談員が対応している。相談員は公民館にいたるだけではなく、必要に応じて各学校や家庭訪問を実施している。

長年ボランティア活動に努力されている方々に感謝の意を表すべきではないか

町長 そのような方々に対し、しっかりと光を当て、その労をねぎらい感謝の意を表したい

平賀

町内にはさまざまなボランティア活動に携わった方が多数いる。合併10年に合わせ長年活動に従事されている方々に対し感謝の意を表してはどうか。報酬や対価を求めないのがボランティア活動ではあるが、評価することによって今後の活動の励みになるのではないか。条例に該当しなくても特例でできるのではないか。

の表彰を行うことを念頭に検討している。

表彰制度には透明性と公平性が求められるので、ボランティア活動等に対する表彰等も新たな表彰基準を設け対応していく。

町長

三種町誕生満10周年を祝い平成28年度中に記念式典を挙行し、町政の発展、住民福祉の増進に功績のあった方々



見守り隊による児童の安全確認

防災行政無線の利活用

町長 慎重に検討していきたい



堺谷 直樹 議員

堺谷 ニュース等で耳にするように、子供が犯罪に巻き込まれる事案が後に防災行政無線で地域住民に見守りをお願いしてはどうか。

また、町民歌を耳にする機会が少ないので、防災行



集団下校する児童

政無線により周知を図ってはどうか。

町長 教育委員会としては大いに進めたいが、スポ少や児童クラブ等により下校時間にバラツキがあるため、慎重に検討していきたい。

また、町民歌の放送は、現在の町民歌は合唱スタイルで歌詞が聞き取りにくい。来年度に10周年を記念し、ソロ歌手による再録音を考えているため、さまざまな機会を捉えて周知を図りたいと考えている。

三種型クアオルトの総合窓口にゆうぱるを

町長 県との協働事業であるためゆめろんに

堺谷

総合案内窓口を設置するゆめろんコースの参加率が低い。ゆめろんの支配人や従業員は頑張っているが、農作業に従事する方が多い等、地域特性が関係しているのではないかと。参加率や町民の関心度が低い琴丘、山本のコースに近接するゆうぱるを窓口にしてはどうか。町民の健康増進の先に、この事業による森岳温泉郷の活性化を視野に入れて考えるなら、そちらの方がメリットがあるのではないか。

町長

県との協働事業であり、ゆめろんを総合案内窓口にし改修することになっている。石倉山公園コースや琴丘クアオルトの古道コースは日本クアオルト研究機構の認定コースになるよう、先行して整備している。今後は滞在型プログラムで

交流人口の拡大を図っていくが、森岳温泉郷の民間施設の方々にも主体的取組を期待する。

山本ふるさと文化館にスロープの設置を

教育長 調査し検討する

堺谷

1年を通して利用される文化館だが、駐車場からの階段が高齢者には大変きついため、スロープを設けてはどうか。

また、パッチワーク綴帳をアピールする大型看板を設置し誘客を図っては。

教育長

文化館駐車場からの階段は、お年寄りや身障者の方々には確かにきつい。スロープを設ける際の方法、経費について調査し、代替案も含めて検討していきたい。パッチワーク綴帳を町外の方へアピールする大型看板の設置については、今ある看板の設置方法も含めて検討していく。

収入減少影響緩和対策制度の対象とならなかった農家への支援を

町長 保険的な制度への加入を指導



大澤 和雄 議員

大澤 米、畑作物の収入減少影響緩和対策の対象となる認定農業者、集落

営農組織、認定新規就農者の現在の数と、農家数・農地面積に占める割合はどのようにになっているのか。

また、認定農業者等の収入減少影響緩和対策の加入要件を満たしていても加入しなかった農家はどのくらいか。

さらに、この制度の対象とならなかった農家への支援はどのように考えているのか。

町長 現在、三種町の認定農業者は547戸、集落

営農組織が14組織、認定新規就農者は13戸となっている。

また、三種町の農家数は全部で2千177戸で、水田経営面積は5千800ヘクタール

である。収入減少影響緩和対策への加入率は農家数で22.4パーセント、交付対象面積では50.7パーセントとなっている。

認定農業者等の担い手で、加入しなかった農家は79戸、認定新規就農者は7戸となっている。

また、この制度の支援の対象とならなかった農家に対しては、この対策はあくまでも加入者が掛金を負担する保険的な制度であることから、加入するよう指導に努めていきたい。

防火水槽の増設を

町長 検討する

大澤 町では防火設備の整備に努めているが、

金岡地区は町の水道がないため、消火栓が設置されていない。その分、さらなる防火水槽の設置が必要ではないか。

また、それぞれの地域で消防水利をどう確保するのか。それらの情報を共有し、地域での自主的な防災

組織の育成が必要ではないか。

町長

金岡地区は、水道整備計画の区域内となっており、本来的には水道事業の実施に伴い消火栓が設置されるべき区域ではあるが、現実的には水道事業の実施は厳しい状況にある。防火水槽の増設について検討していきたい。

消防水利の確保は、常日頃から消防団や地域住民の皆さんと情報を共有することとは非常に大切であると認

識している。そのための防災組織として集落や自治会を単位とする自主防災組織があるが、町内組織率は現在約27パーセントと低い状態にある。今後とも自主防災組織の新たな立ち上げや避難訓練など、積極的にいかかわってきたい。

この他に「児童生徒の安心安全確保」について質問しました。



町民の生命財産を守る消防団
(山本支団 消防操法競技大会)

高齢者の貧困問題

町長 町の大きな課題として取り組んでいく



伊藤 千作 議員

伊藤 高齢者が貧困化していく、その特徴の一つは、低年金であり所得が少なく収入が低いということである。それも最低生活基準に満たない収入である。本人がどう努力しても限界があり、社会的な制度である程度保障しないといけない。

二つ目は貯蓄がない層が多い。

三つ目の特徴として、人間関係が希薄だということが挙げられる。

誰しもが貧困に陥る可能性のある構造となっているのだから、これをきちんと解決しようという政策的な世論形成が必要と思う。そうでないと、みんな自己責任化し、貧困は本人の問題だと思って自分を責めて終わってしまう。

そもそも、老後生活ぐら

いは平準化するために、社会保障制度は存在するものであったはずである。その根本に立ち返らないと不幸な高齢者の続出は止めることはできないと思う。

町長は、高齢者の貧困問題についての見解と対策をどう考えているのか。

町長 少子高齢化社会の進展や平均寿命の延伸等により、ひとり暮らしの



高齢者の生きがいづくり活動

高齢者や高齢世帯が増加すること、何らかの支援を要する高齢者が増え続けていることから、今後とも、社会全体の問題として捉えられていくものと考ええる。

町としても、高齢者の貧困問題は、行政の大きな課題として捉えながら、現在実施している福祉サービスの拡充とあわせ、新たな課題発見とその解決に向け町の大きな課題として取り組ん

でいく。

また、医療、介護、生活支援、介護予防が包括的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向け、関係機関との連携をより強化しながら、生涯住み慣れた地域で安心して暮らせるよう鋭意努力していく。

伊藤 高齢者の生活実態を踏まえながら、今回、介護保険料が住民に通知されているので、ほとんどの人が驚いている。軽減対策を考えていくべきだ。

町長 負担できる限界が多分あると思うので、その辺を見極めながら、それぞれの段階で負担できるよう、場合によっては一般会計から財政出動することを含めて考えていきたいと思う。

11/4水、5木、6金

第2回 「町民と議会との懇談会」を開催します。

三種町議会では、本会議の内容や議会活動の状況などを町民のみなさんにご報告・説明し、また、議会や町政に対する質問や意見、提言をお聴きする機会として、「町民と議会との懇談会」を開催します。たくさんのご来場をお待ちしております。

◆ 日 程

日 時	地 域	会 場	担当班
11月4日(水) 午後6時00分～午後8時00分	琴丘地域	上岩川生活改善センター	3 班
	山本地域	すいらんの館	1 班
	八竜地域	せいぶ館(女性若者等活動促進施設)	2 班
11月5日(木) 午後6時00分～午後8時00分	琴丘地域	鯉川コミュニティセンター	2 班
	山本地域	金陵の館	3 班
	八竜地域	浜口地区館	1 班
11月6日(金) 午後6時00分～午後8時00分	琴丘地域	琴丘地域拠点センター	1 班
	山本地域	山本公民館	2 班
	八竜地域	鵜川地区館	3 班

◆ 班編制

班	1 班		2 班		3 班	
出席議員	平賀 真	工藤 秀明	宮田 幹保	大澤 和雄	安藤 賢藏	高橋 満
	金子 芳継	伊藤 千作	児玉 信長	鈴木 一幸	三浦 敦	清水 欣也
	後藤栄美子	石井 秀基	小澤 高道	成田 光一	加藤彦次郎	堺谷 直樹

◆問い合わせ先 議会事務局 ☎85-4831

三種町子ども議会

小中学生18人が登壇

8月6日、三種町議会議場において「三種町子ども議会」が開催された。

三種町の将来を担う子どもたちが、町政への関心を高めることを目的に町内6小学校から12人と3中学校から6人の計18人が登壇し一般質問を行った。

それぞれの質問には町長、副町長、教育長、各課長が答弁にあたった。

最後に山本中学校3年の藤原彩寧さんが三種町子ども議会宣言を読み上げた。

◎ 一般質問の内容

●子どもやお年寄りが、身近な場所で健康を推進するための取組について

金岡小学校 6年 櫻田恵瑠

●税金の使われ方について

浜口小学校 6年 鈴木美羽

●下水道を使う家庭を増やすことについて

湖北小学校 6年 日諸莉瑚

●お年寄りや障がい者が安全に外を歩ける設備・整備について

琴丘小学校 6年 渡邊大夢

●プラスチックゴミのリサイクルについて

下岩川小学校 6年 石井颯大

6年 佐々木一成

請願

陳情

審査報告

請願1件と陳情3件は次のとおり付託委員会で審議され、本会議で請願を継続審査、陳情1件を継続審査、1件を不採択、1件を採択と決定しました。また、請願に対しては清水欣也議員から継続審査に対する動議が提出され、起立採決を行い、賛成少数により否決されました。

請 願		請 願 者 氏 名	紹介議員	付託委員会	結 果																					
安全保障関連2法案(国際平和支援法案、 平和安全法制整備法案)の廃案を求める 意見書採択に関する請願書		平和で豊かな能代をつくる 市民懇話会 代表世話人 吉田 瑞穂	伊藤 千作 大澤 和雄	総 務 常任委員会	継続審査																					
継続審査に対する動議を否決 この請願については、本会議で総務常任委員長より「継続審査」と報告されたが、清水欣也議員から「再度、審査すべき」との動議が提出された。 その後、ただちに起立採決を行い、賛成7、反対10（定数18、議長を除く）で、動議は否決された。 動議の提案理由 清水 欣也 議員 今いろいろ話題になっている安全保障関連2法案であり、非常に大きな問題であることから、継続審査ではなく、もう一度、常任委員会で「採択」か「不採択」かの審査をすべきである。 ◆動議に賛成の議員 <table><tr><td>大澤 和雄</td><td>安藤 賢藏</td><td>清水 欣也</td></tr><tr><td>高橋 満</td><td>加藤彦次郎</td><td>堺谷 直樹</td></tr><tr><td>伊藤 千作</td><td></td><td></td></tr></table> ◆動議に反対の議員 <table><tr><td>宮田 幹保</td><td>三浦 敦</td><td>工藤 秀明</td></tr><tr><td>石井 秀基</td><td>鈴木 一幸</td><td>小澤 高道</td></tr><tr><td>成田 光一</td><td>後藤栄美子</td><td>平賀 真</td></tr><tr><td>児玉 信長</td><td></td><td></td></tr></table>						大澤 和雄	安藤 賢藏	清水 欣也	高橋 満	加藤彦次郎	堺谷 直樹	伊藤 千作			宮田 幹保	三浦 敦	工藤 秀明	石井 秀基	鈴木 一幸	小澤 高道	成田 光一	後藤栄美子	平賀 真	児玉 信長		
大澤 和雄	安藤 賢藏	清水 欣也																								
高橋 満	加藤彦次郎	堺谷 直樹																								
伊藤 千作																										
宮田 幹保	三浦 敦	工藤 秀明																								
石井 秀基	鈴木 一幸	小澤 高道																								
成田 光一	後藤栄美子	平賀 真																								
児玉 信長																										

陳情	件名	陳情者氏名	付託委員会	結果
	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	福岡県行橋市議会議員 小坪 慎也	総務常任委員会	継続審査
	マイナンバー制度の平成28年1月実施の延期と改正案の凍結を求める意見書の提出についての陳情	秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲	総務常任委員会	不採択
この陳情については、本会議で総務常任委員長より「不採択」と報告されたが、伊藤千作議員より反対討論があり起立採決となった。その結果、賛成15、反対2(定数18、議長を除く)となり総務常任委員長報告のとおりの不採択となった。				
	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出についての陳情	秋田県商工団体連合会 婦人部協議会 会長 小玉 智子	総務常任委員会	採択



- 空き家の状況とその活用について
森岳小学校 6年 石井 美有
- 三種から全国に発信できる魅力ある観光資源の創造や進化について
八竜中学校 2年 田中 雅也
- クアオルトによるいきいきプロジェクトについて
琴丘中学校 3年 田崎 由啓
- 害虫による農作物への被害の大きさとその対策について
山本中学校 3年 山田 拓哉

三種の星

高校生ものづくりコンテスト 木材加工部門東北大会優勝



能代工業高校

伊藤 愛美

(琴丘中出身)

私はこの度、高校生ものづくりコンテスト木材加工部門東北大会で優勝することができました。さまざまな方のご協力のおかげで、この結果を得ることができました。

昨年、先生に誘われたのをきっかけに、ものづくりコンテストの練習を始めました。昨年は全県大会で優勝したものの、東北大会では、緊張していつものどおりの作業ができず、悔しい結果となりました。

3年生になってからの練習では、今年こそ良い結果を残したいという気持ちで励みました。制限時間内に完成させることを目標に練習していましたが、なかなかタイムを縮めることができませんでした。そのような状

態で東北大会が行われました。制限時間内に完成できるか心配でしたが、順調に作業が進み、完成することができました。2度目の東北大会ということであり、他の参加者はとても上手で、自分が優勝できるとは思っていませんでした。

ここまでこられたのも、指導してくださった先生、応援してくださった方々のおかげです。たくさんの方に感謝しています。

卒業後も学んだ知識や技術を生かしてものづくりに携わり、一人前の技術者を目指していきます。



コンテストの課題に挑む伊藤愛美さん

たいと思っています。少しでも会社に貢献できるように仕事をし、日々精進していきます。最後に、11月14日から宮崎県で行われる全国大会では、練習してきた成果を発揮し、少しでも良い結果を残せるよう頑張ります。

編集後記

梅雨らしき日々もなく、猛暑が続いたかと思えばあつという間に秋になりました。

そして台風の影響による大雨と河川の氾濫などに見られるように、今年の日本はやはり異常気象なのでしょう。

先の台風18号で犠牲になられた方、そして被害を受けられた方々には心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

我が町においては今のところ大きな災害に見舞われることもなく、稲の作柄は「やや良」、そして「生産者概算金」も3年ぶりに持ち直す見込みなど明るい状況にあるのではないでしょう。

「議会だより」は今の広報委員で2年目に入ります。これまでに3度の研修会に参加するなどして、町民の方々に読んでも頂ける見やすい紙面を目指して研さんを重ねてきました。

今後も更なる努力をして参りますのでよろしくお願い致します。

成田 光一 記